

第 19 期 pES club シナリオ 5

2020 年 5 月 24 日

横浜市立市民病院 薬剤部

五十嵐 俊

JCHO 東京城東病院 総合診療科

南郷 栄秀

あなたは名羅手部総合病院に勤務する 2 年目の薬剤師です。

伊丹都禰代さん（72 歳女性）は狭心症と心不全で 10 年来通院しています。3 年前には心筋梗塞を発症しカテーテル治療を行いました。伊丹さんは先月、転倒してしりもちをついてから腰痛に悩まされています。整形外科を受診したところ、腰椎の圧迫骨折の診断で保存的に加療することになりました。高齢のためアセトアミノフェンで疼痛コントロールを行っていましたが、効果は十分とは言えませんでした。そのため NSAIDs に変更することとなり、あなたに薬剤指導と処方提案の依頼がありました。あなたは、処方提案のプランを谷蘭先輩に相談しました。

あなた 「NSAIDs なら何が良いでしょうか」

谷蘭 「そうね、鎮痛効果はもちろんだけれど安全性にも配慮したいわね」

あなた 「じゃあ、消化管障害が少ない COX2 阻害剤あたりをお勧めしましょうか」

谷蘭 「伊丹さんは心不全で外来フォローされている患者さんよね」

あなた 「そうでしたね」

谷蘭 「だったら心不全を悪化させない薬を選択したほうが良いわね」

あなた 「何か違いがあるんですか？」

谷蘭 「薬剤によって心不全の増悪リスクに違いがあるって報告を読んだ記憶があるわ。念のため担当医と相談しておいた方が良いわね」

あなた 「そんなの聞いたことないですけど」

谷蘭 「なら情報提供をする前に、論文を確認しておかなくちゃね」

そう言って谷蘭先輩は、入院患者さんの指導に出かけてしまいました。あなたは、NSAIDs が心不全を増悪させることがあるのか、調べてみることにしました。